



MANIFESTO next 2023

確かな歩みを前へ

小桧山よしのり政策集

10,000の瞳がみつめています

父と母の思いを受け継いで

父は昭和18年海軍航空隊と共に千葉県館山から三沢に来て小桧山家に下宿をし、終戦を迎えて母と結婚したと聞いております。

海軍で鍛えた父は「アイスキャンデー」の製造販売で一世を風靡しました。しかし、その無理があったのか昭和40年3月に亡くなりました。

3人の子供を残された母は、幸いにも教員の免許があり、かねてからの夢であった「幼児教育」に人生をかけたのであります。母の口癖は「幼児教育がその人の人生を決める」、「幼児の瞳に嘘がない」と、常にこの言葉を聞いていました。27年前に母が亡くなり、母の思いを受け継いでから、巣立った子供たちは5,000人を超えています。私は毎日10,000の瞳に見つめられていることを自覚し、その心を宝として人生を歩みたいと思います。ありがとうございました。



父 末吉とオート三輪に乗って [昭和28年]



母 きみと自宅の庭にて [昭和52年頃]



家族とともに新車のオート三輪の前で [昭和28年]

「小桧山よしのり」人物紹介

小桧山よしのり 経歴

- 昭和25年5月27日三沢市生まれ
- 岡三沢小学校、第一中学校、三沢商業高校、帝京大学経済学部、八戸学院短期大学幼稚教育科卒業
- (社)若竹会理事長【岡三沢子ども園・平畠子ども園・愛子子ども園】、(学)小桧山学園理事長【三沢第一幼稚園】
- 三沢市議会議員2期、青森県議会議員3期
- 自民党青森県連幹事長代理、総務企画危機管理常任委員会委員長【県議会】、農林水産常任委員会委員長【県議会】、建設常任委員会委員長【県議会】
- 平成30年11月、種市一正市長より後継指名を受ける



大島理森代議士と共に 三村申吾県知事と一緒に 趣味のバイクツーリング

小桧山よしのり インタビュー

Q. 家族は?

A. 妻、長男、次男、長女、孫4人

Q. 趣味は?

A. 大型バイク(750cc)でツーリングと学生時代からずっと続けてきた卓球です。小・中学校大会で優勝しました。

Q. 好きな言葉は?

A. 「継続は力なり」 小なこと(誰でも出来る事)を積み重ねる事が大切だと思っています。

Q. 好きな食べ物は?

A. 「出し巻き卵焼き」 苦手な食べ物はありません。

Q. 尊敬している人は?

A. 「小桧山末吉(父)」 海軍の軍人として武士道を身に着けた人。男として尊敬しています。

Q. 今までで一番うれしかった事は?

A. 三沢第一中学校時代卓球大会個人戦で優勝した事。

Q. お父さん・お母さんからの教えは?

A. 父からは「上見て進め、下見て暮らせ(理想をもって進み、周りに常に感謝しなさい)」という言葉と、母は幼児教育の素晴らしさを、身を持って教えてくれました。



私は この歩みを止めない！

「市民参画」と「協働」をキーワードに3期12年にわたり市政運営を行なってきた種市市長の尽力により、外部からの評価では2020年東京五輪・パラリンピックに向け政府が新設した「共生社会ホストタウン」に登録されたほか、「主婦が幸せに暮らせる街ランキング」で北海道・東北ブロックで1位、全国でも12

位になるなどの高評価を得る中で、内部からの評価でも、市民満足度調査で「住みやすい・定住したい」という意向が8割近くとなるなど、多くの項目で満足度が上昇しました。

これらの実績を踏まえ、2018年からスタートした「第2次三沢市総合振興計画」の実現に全力で取り組みます。「未来へつなぐ心

安らぐ 国際文化都市」の基本理念のもと、子育て支援、学力の向上、共生社会の浸透、地場産品のブランド化などについて、できることから着実に、市民のみなさまとの「対話を通じて」共に実現していきます。

政策の実施に当たっては、三沢市議会議員2期、青森県議会議員3期の政治経験と

実績に加え、組織の規模、財政力、市民ニーズの多様化・高度化に対応した政策を小桧山よしのりの責任と約束である6つの項目を「マニフェスト next 2023」として前へ、前へと進めます。

小桧山よしのり

種市市政12年これまでの歩み [実績の一部をご紹介します]

未来を拓く人づくり

福祉・医療・教育・協働・情報など

- わんぱく家族米支給事業
(2009年度～継続中)
- 妊婦委託健康診査の拡充
(2011年度～継続中)
- PET-CT 診断装置整備事業
(2015年3月運用開始)
- ウエナッチバレーカレッジ英語研修派遣事業
(2016年度～継続中)
- 三沢キッズセンターそらいえ整備事業
(2017～2018年度)
- 子ども医療費給付事業【所得制限撤廃】
(2017年度～継続中)



PET-CT画像診断センター



三沢キッズセンターそらいえ

人が行き交うまちづくり

商業・観光・交通・都市基盤など

- 旅券(パスポート)窓口の開設【県内初】
(2012年開設 8月1日～継続中)
- 大阪伊丹便復便・札幌丘珠便新規開設
(2013年～継続中)
- 三沢駅前広場整備事業
(2013年度～継続中)
- 国際交流スポーツセンター整備事業
(2014～2017年度)
- 住宅取得支援助成金事業
(2016年度～継続中)
- 東京2020パラリンピック事前キャンプの基本合意書締結
(2018年6月17日)



国際交流スポーツセンター



事前キャンプ基本合意書締結

心安らぐ生活づくり

防災・消防・雇用・農業・水産など

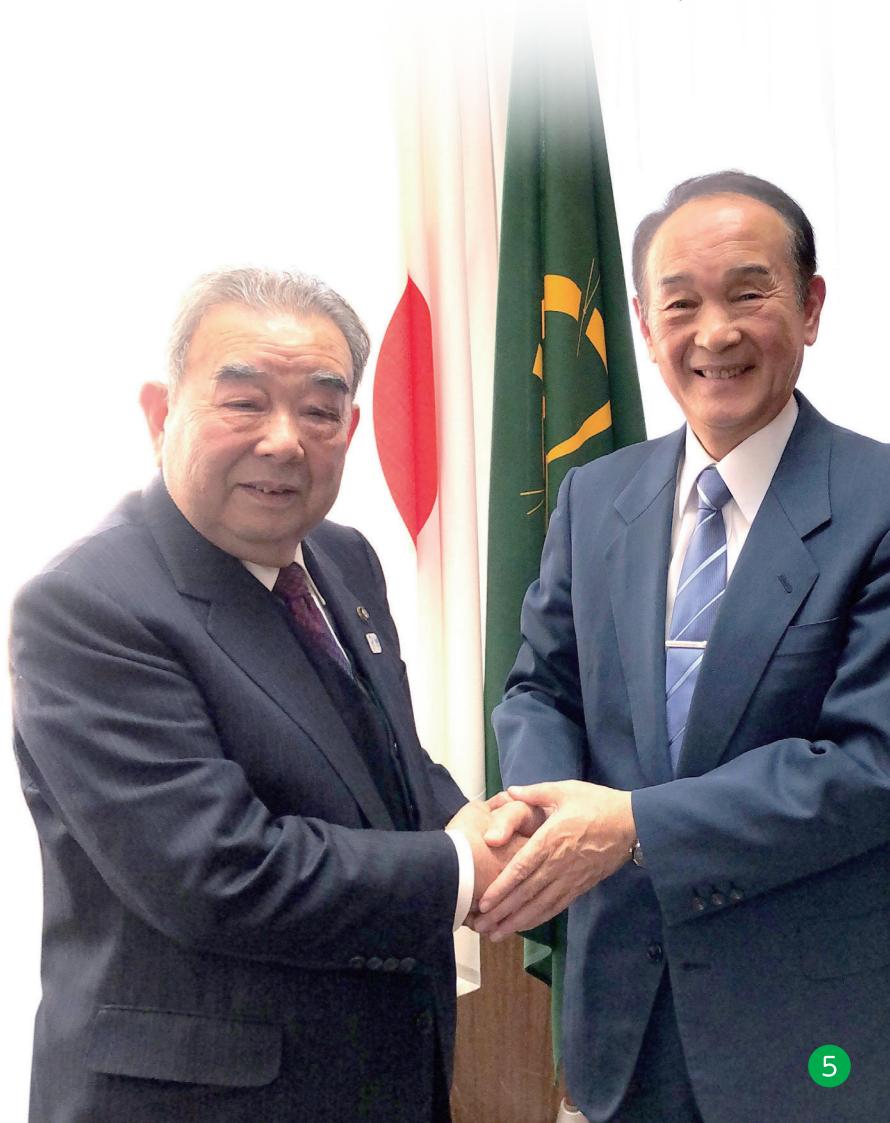
- 長ごぼう冷蔵貯蔵施設設置事業
(2008年度)
- 防災メール in 三沢配信事業
(2009年度)
- 三沢市食肉処理センター大規模改修着工
(2011～2014年度)
- 農産物加工施設設置事業【学校給食センター併設】
(2012年度)
- 津波監視カメラ整備事業
(2014年度)
- 水産物流機能高度化対策事業
(2016年度～2019年3月完成予定)



三沢市農産物加工施設



水産物流機能高度化対策事業





子育て支援

小さな笑顔を大きな力に

「三沢キッズセンターそらいえ」を拠点に妊娠期から切れ目ない子育て支援を充実させ、「わんぱく家族米支給事業」、「所得制限のない子供医療費給付事業」などの事業を継続。新たに子育て分野における行政・学校・地域の連携、段階的な給食費の無償化

の検討を市民の皆さんと行い、「家族だけで悩まない、市を挙げて子育てを応援する仕組み」を構築します。また、若者の結婚・就職支援とイクメン・カジダンといった男女共同参画を応援する「幸せの種応援クラブ」を民間と共同で設立します。



出生率*

8.7

(2017年10月1日現在)
県内1位



10.9

自然増減がゼロになる率!



合計特殊出生率*

1.79

(2008年～2012年)
県内1位



2.00

自然増減がゼロになる数値!



婚姻率

6.6

(2017年10月1日現在)
県内10市で1位

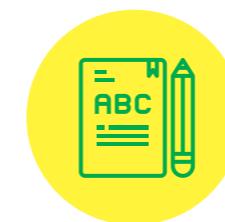


8.0
県内平均の2倍!

小中学校の学力向上を図り、併せてスポーツ・文化面で活躍する子供たちを応援するため、三沢版コミュニティスクール※の強化、大会出場経費の継続、教育支援員の増員など、予算面・制度面での充実を図ります。そして、子どもの基本的人権を保障す

るため「仮称：三沢市子どもしあわせ憲章」を市民の皆さんと共に、制定します。

※学校と保護者や地域の皆さんとともに知恵を出し合い、学校と地域の人々と一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支える仕組みづくりです。



中学校の 英語検定3級合格率

38%

(2017年度)



70%



学校配置支援員の増員 (各学校の状況に合わせて)

55人

(2018年度)



65人



仮称：三沢市子ども しあわせ憲章の制定

**子どもの
虐待ゼロ!
子どもの
いじめゼロ!
子どもの
不登校ゼロ!**



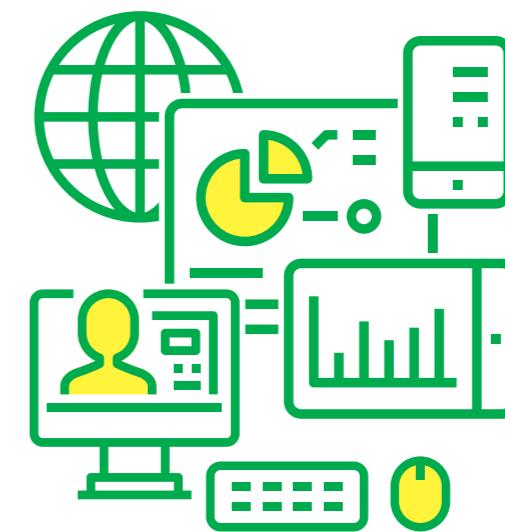
MANIFESTO
3
next 2023

共生社会の浸透

誰もが生き生きと暮らせる社会へ

2020 東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン、共生ホストタウンに指定されたことをバネに、障害のあるなしにかかわらず暮らしやすい共生できる地域社会の構築を進め、さらに国籍・年齢・性別・価値観・宗教の違いを互いに認め合う心の

バリアフリーを推進しす。また、ウェナッチバレーとの交流については周辺町村との共同化も模索し、ウェナッチバレーカレッジへの研修派遣、グローバル人材養成セミナーを開催します。さらに、市民活動団体の支援を加速させます。



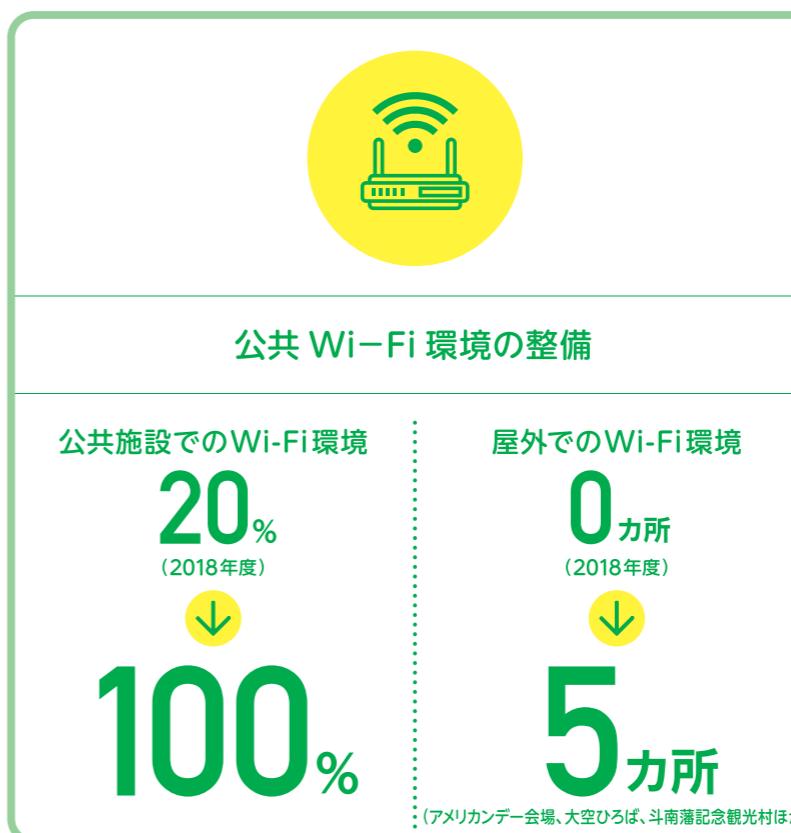
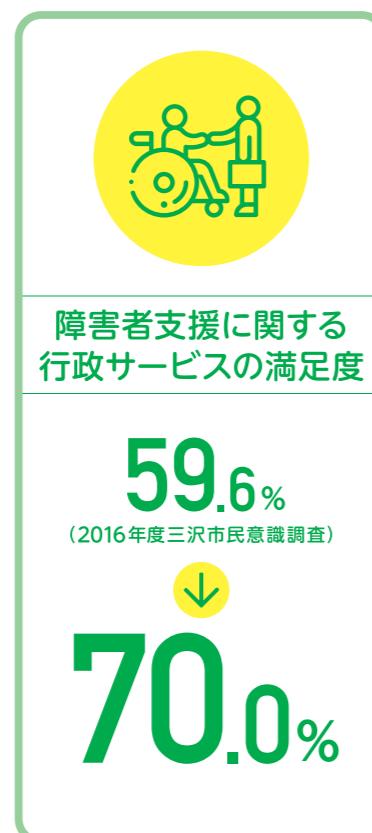
MANIFESTO
4
next 2023

ICTタウンの推進

先端技術で多様な可能性を広げます

ICTは、ITにコミュニケーション機能を付加し、さらなる利便性向上を目指す取り組み全般を指す言葉で、簡単に表現するとITは「情報通信そのもの」、ICTは「情報通信技術の使い方」と言えます。このICTを「行政改革分野」、「教育分野」、「医療・福

祉分野」、「防災・減災分野」など各分野で活用できるようICT推進プロジェクトチームを設置し調査研究を進めます。そしてまずは、インバウンド観光等に対応したWi-Fi環境の整備やペーパレス会議を促進し経費削減に取り組みます。





MANIFESTO
5
next 2023

地域力の向上

もっと便利に、もっと快適に

経済面における地域力の向上のため、地場産品(長いも、ゴボウ、ニンニク、イカ、北寄貝)のブランド化、空港機能の強化、雇用の場の拡充、交流人口の増加によりまちのにぎわい創出、堀口地区の開発に取り組みます。さらに仕事と余暇のバランスと多様な働き方のある地域社会の構築に努めます。



MANIFESTO
6
next 2023

みさわ愛の醸成

好きな三沢をもっとステキに

三沢市の特色ある生活習慣や市民感覚などは、普段暮らしていると当たり前となってしまい、その価値や魅力は感じにくくなってしまいます。もう一度「開放的でアメリカナイズされた風土」や国際文化都市ならではの特色に光を当てて三

沢市の魅力になるように磨き上げ、意識することでみさわ愛の醸成へと繋げていきます。具体的には、「文化としてのバーベキューの磨き上げ」、「三沢会の立ち上げ」、「This is MISAWA」等さらに三沢らしさを追求します。



小学6年生が感じる「好きな三沢」

- 外国人も日本人もみんな仲良し
- 僕達が学校に行けるために（安全）雪かきをしてくれる、優しい人が多い
- 車が道を譲ってくれたらお辞儀をすること
- 犯罪がない
- おばあさんやおじいさんたちが優しい
- 平和で静かなところ
- 野菜を育てる農家が多いこと
- みんな優しい
- 施設（体育館など）の充実
- 給食がおいしい
- 静かで普通に暮らせるところ
- 公園のトイレがきれい
- 住み心地がいいから
- 争いが少ないところ
- 道にごみが落ちていない
- 全てが良いです
- 緑が多くてのびのびしているから
- あまり東京みたいにでかい建物がないところ
- みんなが心豊かなこと
- 市民のあいさつがいい
- 外国人がいっぱいいる

平成28年度三沢市民意識調査より

好きな三沢を もっとステキに

市民が育てる三沢の未来



小桧山よしのり 後援会事務所

〒033-0024 三沢市東岡三沢一丁目20-2

TEL. 0176-51-1228

FAX. 0176-51-1229

URL <http://kohiyama-misawa.com/>

E-mail info@kohiyama-misawa.com

<https://fb.com/kohiyama.misawa/>

ご意見をお聞かせください

この政策集に記載された政策へのご意見・ご感想をぜひお寄せください。お寄せいただいたご意見、ご感想を今後の政治活動に活用させていただきます。

新入会員を募集しています

小桧山よしのり後援会では、新入会員を随時募集しています! ご賛同いただける方は、ぜひ上記連絡先までご連絡ください。